「ち」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「ち」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 16

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「ち」で始まる語彙辞典（メジャー）

知恵(ちえ)を絞・る
あれこれ苦心して考える。

地下(ちか)に潜(もぐ)・る
取り締まりの目の届かない所で、秘密に非合法な政治活動や社会運動をする。

ちか - まさり【近優り】
［名］(スル)
離れているときよりも、近くにいるときのほうが、よく見えたり感じられたりすること。⇔近劣り。

ちから - ぬけ【力抜け】
［名］(スル)
心の張りを失うこと。落胆すること。「試合が延期になって―する」

地(ち)から湧(わ)・く
今まで影も形もなかったものが突然現れる。「天から降ったか―・いたか」

血(ち)が引(ひ)・く
驚きや恐怖などで、顔が青ざめる。ぞっとする。「あまりの恐怖に、顔から―・く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ちぎれ - ちぎれ【千切れ千切れ】
［形動］［文］［ナリ］
いくつもにちぎれているさま。きれぎれ。「―な記憶をつなぎ合わせる」

ちく - じ【逐次】
［副］
順を追って次々に物事がなされるさま。順次。「人口が―減少していく」

ちく - ぞう【蓄蔵】
［名］（スル）
たくわえて、しまっておくこと。「非常時に備えて食糧を―する」

ちく - ぞう【築造】
［名］（スル）
土手・ダム・石垣などを築いてつくること。「堤防を―する」

ちく - でん【逐電】
［名］（スル）
《古くは「ちくてん」とも。いなずまを追う意》
敏速に行動すること。特に、すばやく逃げて行方をくらますこと。「公金を横領して―する」

ち - しお【血潮】
① 潮のようにほとばしり出る血。「―に染まる」
② 体内を潮のように流れる血。激しい情熱や感情。「熱き青春の―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ち - じょく【恥辱】
体面・名誉などを傷つけること。はずかしめ。「―を受ける」「―に耐える」

ち - すじ【千筋】
糸のように細長いものが数多くあること。「―の黒髪」「―の涙」

ち - そく【遅速】
遅いことと、速いこと。遅いか速いかの度合い。「―を競う」

ち - たい【遅滞】
［名］（スル）
物事の進行がとどこおること。予定どおりに進まないで、期日などにおくれること。「業務が―する」「―なく前進する」

ち - たい【痴態】
愚かな振る舞い。ばかげた態度。「酒が過ぎて―を演じる」

ちち - くさ・い【乳臭い】
［形］［文］ちちくさ・し［ク］
① 乳のにおいがする。ちくさい。「―・い赤ん坊」
② 考え方などが幼稚で未熟である。子供っぽい。「―・いことを言う」「―・い青二才」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ちぢみ - こ・む【縮（み）込む】
［動マ五（四）］
① ちぢんで中に入り込む。「殻の中に―・む」
② 恐怖・寒さなどで、からだや気持ちを小さくする。「恐ろしさのあまり―・む」

ちつじょ - だ・つ【秩序立つ】
［動タ五（四）］
順序や筋道が保たれている。「―・った論理」

ちつじょ - だ・てる【秩序立てる】
［動タ下一］
順序よく、筋道が通るようにする。「―・てて説明する」

血（ち）で血を洗・う
《「旧唐書」源休伝から》
① 殺傷に対して、殺傷で応じる。「―・う抗争」
② 血のつながっている者どうしが争う。

血（ち）に飢・える
傷つけたり殺したりしたいような、激しくすさんだ気分になる。「―・えた狼」

ち - の - あせ【血の汗】
大変な苦しみや努力をしたときに出る汗のたとえ。「―を流して稼ぐ」

ち - の - あめ【血の雨】
殺傷事件や戦争などで、多くの人の血が流されることのたとえ。「―が降る」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ち - の - なみだ【血の涙】
怒りや悲しみのあまりあふれ出る涙。血涙(けつるい)。「堪えがたい苦しみに―を流す」

ち - はい【遅配】
［名］(スル)
配達や支給などが、いつもよりおくれること。「郵便物の―」「給料が―する」

ち - はつ【遅発】
［名］(スル)
定時よりおくれて出発すること。「地震のため列車を五分―させる」

血(ち)は水よりも濃い
血筋を引いた間柄は、他人に対するより親密であることのたとえ。

ち - ひつ【遅筆】
文章などを書くのがおそいこと。「―で有名な作家」⇔速筆。

ち - へど【血反吐】
血のまじったへど。非常な苦難のたとえにも用いる。「―をはく思い」

地歩(ちほ)を占(し)・める
自分の立場・地位を定める。「批評家として確かな―・める」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

血道(ちみち)を上(あ)・げる
色恋や道楽などに分別を失うほど熱中する。のぼせあがる。「ゴルフに―・げる」

茶茶(ちゃちゃ)を入・れる
じゃまをする。水をさす。「まとまりかけた話に―・れる」

ちゅうぎ - だて【忠義立て】
［名］(スル)
忠義をどこまでも立て通すこと。また、忠義を尽くしているように振る舞うこと。「辞めた会社に―する」

ちゅう - ごし【中腰】
腰を半分かがめた姿勢。「―になって作業する」

ちゅう - さつ【誅殺】
［名］(スル)
罪をとがめて殺すこと。「逆臣を―する」

ちゅう - し【注視】
［名］(スル)
注意深くじっと見ること。「事の成り行きを―する」「全員の―を浴びる」

ちゅう - すい【注水】
［名］(スル)
水をそそぎ入れること。また、水をそそぎかけること。「ホースで水槽に―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ちゅう - せつ【忠節】
主君への忠義をかたく守ろうとする気持ち。「―を尽くす」

ちゅう - ぶとり【中太り】
［名・形動］
やや肥満していること。また、そのさま。「―な（の）体型」

ちゅう - ぼそ【中細】
中くらいの太さであること。また、そのもの。「―の毛糸」

昼夜(ちゅうや)を分(わ)かたず
昼夜の区別をしないで。絶えず。「―研究に励む」

ちゅう - よう【中庸】
［名・形動］
かたよることなく、常に変わらないこと。過不足がなく調和がとれていること。また、そのさま。「―を得た意見」「―な（の）精神」

ちゅう - りょく【注力】
［名］（スル）
ある事に力を入れること。力を尽くすこと。「不良債権の解消に―する」

ちょう - い【弔意】
人の死を悲しみいたむ気持ち。哀悼の心。「―を表す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ちょう - かん【鳥瞰】
［名］（スル）
鳥が空から見おろすように、高い所から広い範囲を見おろすこと。また転じて、全体を大きく見渡すこと。俯瞰（ふかん）。「山頂から市街を―する」「日本経済を―する」

ちょう - こう【長考】
［名］（スル）
長い時間をかけて考えること。「―した末の一手」

ちょう - こう【調光】
［名］（スル）
照明の明るさを調節すること。「曲調に合わせて―する」「―器」

ちょう - こう【聴講】
［名］（スル）
講義を聞くこと。「経済学を―する」

ちょう - こく【超克】
［名］（スル）
困難や苦しみにうちかち、それを乗りこえること。「欲望を―する」

ちょう - ぞく【超俗】
世俗を超越すること。「―の人」「―的生活」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ちょう - たいそく【長大息】
［名］（スル）
長いため息をつくこと。また、そのため息。長嘆息。「―をもらす」

ちょう - ば【嘲罵】
［名］（スル）
あざけりののしること。「―を浴びせられる」「口汚く―する」

ちょう - ぼう【眺望】
［名］（スル）
遠くを見わたすこと。また、見わたしたながめ。見晴らし。「―がきく山頂」「屋上から市街を―する」

ちょう - ぼん【超凡】
［名・形動］
普通よりはるかにすぐれていること。また、そのさま。非凡。「―な才能」

ちょう - めい【澄明】
［名・形動］
水・空気などが澄みきっていること。また、そのさま。「―な大空」

ちょう - もん【弔問】
［名］（スル）
遺族を訪問して、くやみを述べること。「関係者が多数―する」「―客」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ちょう - らく【凋落】
［名］（スル）
① 花や葉がしぼんで落ちること。「―の秋」
③ おちぶれること。落魄。「一家が―する」

ちょう - ろう【嘲弄】
［名］（スル）
あざけり、からかうこと。「他人の失敗を―する」「―を受ける」

ちょく - しゃ【直写】
［名］（スル）
そのままを写すこと。あるがままに写すこと。「事実を―する」

ちょくじょう - けいこう【直情径行】
［名・形動］《「礼記」檀弓から》
自分の感情のままを言動に表すこと。また、そのさま。「―な（の）性格」

ちょっ - きん【直近】
現時点から最も近いこと。「―の事業概況」

緒(ちょ)に就・く
物事に着手する。物事が始まって軌道にのり、見通しがつく。しょにつく。「問題解決の―・く」

血(ち)を吐く思い
ひどくつらい思い。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ちん - き【珍奇】
［名・形動］
珍しくて風変わりなこと。また、そういうものや、そのさま。「聞いたこともない―な話」

ちん - き【珍稀】
［名・形動］
めずらしく、まれなこと。また、そのさま。「―な出来事」「―な品物」

ちん - き【珍貴】
［名・形動］
珍しくて貴重であること。また、そのさま。「―な品」

ちん - きゃく【珍客】
珍しい客。また、思いがけない客。ちんかく。「―が訪れる」

ちん - しゃ【陳謝】
［名］（スル）
事情を述べてわびること。「不祥事を深く―する」

ちん - せい【沈静】
［名・形動］（スル）
落ち着いていて静かなこと。静かになること。また、そのさま。「ブームが―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ちん - ちょう【珍重】
［名］（スル）
珍しいものとして大切にすること。「酒の肴（さかな）として―される食品」

ちん - にゅう【闖入】
［名］（スル）
突然、無断で入り込むこと。「暴漢が会場に―する」「―者」

ちん - むるい【珍無類】
［名・形動］
他に例のないほどおかしくて変わっていること。また、そのさま。「―な（の）発想」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.